

# 骨髓バンク・ドナー助成制度導入

**Q** 白血病や再生不良性貧血等の疾患は、造血幹細胞を骨髓から採取し移植する治療が必要です。骨髓ドナー登録及び、本市の骨髓移植の現状と県の骨髓移植ドナー支援について伺います。

**A** 年齢18歳以上54歳以下で健康な方、登録は献血ルーム又は各地で開催されるドナー登録会にて、2mlの採血を行うことで登録できます。本市の骨髓移植の現状は平成28年度8名、29年度2名です。県の事業はドナーとドナーが従事する事業所に助成した市町村に2分の1を補助する制度です。本市は31年度に導入に向け準備します。

# 子どものアレルギー対策

**Q** アレルギーを持つ子どもの現状について伺います。

**A** 保育園、学校、共にアレルゲンの内訳は卵、乳製品、えび、かにの順で多く、保育園は「アレルギー対応ガイドライン」に沿って、また、学校は個別に「食物アレルギー対応取組プラン」を作成し除去調理、又は弁当を持参して頂いています。

**Q** アナフィラキシーショック時の対応と医療との連携について伺います。

**A** 保育園、幼稚園において1年に数回研修会を開催し、アレルギーへの基礎知識やアナフィラキシーへの理解と対応、エピペンの取扱いの資料提供や実施研修を通して行っております。学校においてはエピペン所持者について保管場所等、全ての職員で情報を共有しています。また、保護者の同意の元、かかりつけ医療機関やアレルゲンとなるものの情報を消防局と共有し、緊急時の対応に備えています。



# 浅野さち通信

平成30年9月議会報告



## いのちと健康を 守る

いつも大変お世話になっております。浅野さち でございます。

平成30年9月議会において下記の項目を一般質問致しました。

- 1 防災対策について
  - (1) 防災備蓄食品の現状と賞味期限が近い防災備蓄食の対応
  - (2) 災害時の乳児用液体ミルクに対する認識と今後の取り組み
- 2 風疹の流行について
  - (1) 大人の風疹流行状況
  - (2) 本市の現在の対応と今後の対応の考え方
- 3 本市における不妊治療及び不育症治療に対する支援の導入について
- 4 骨髓バンク・ドナー助成制度導入について
- 5 子どものアレルギー対策について
  - (1) アレルギーを持つ子どもの現状及び対応
  - (2) アナフィラキシーショック時の対応方法と指導について
  - (3) 医療機関との連携体制について

これからも一人の声を大切に聞いて参ります。今後とも宜しくお願ひ致します。

市川市議会議員 2期  
健康福祉委員会委員長  
看護士 防災士

市民相談は浅野さちまで

090 (1763) 7785

